

ご当地テーマ 市民猛練習

# 具 定 の 恋 歌 う よ

## 14・15日 四国中央ミュージカル

四国中央市の市民ミュージカル「ラブ・ミー・テンダー〜具定の恋〜」が14、15の両日、同市土居町入野のユ一ホールで上演される。出演者約30人が練習に追い込みを掛けている。

地元劇団やまちづくり団体関係者らが運営する四国中央ふれあい市民劇団（座長・篠原実市長）が上演。2年に1回公演し5回目。毎回出演者を市民から公募している。

「ラブー」は、同市がモデルのまちでの恋物語。昨年「恋人の聖地」に認定された具定展望台（同市寒川町）などを舞台に、過去の罪から逃れるように流れ着いた主人公が住民の優しさや思いやりに触れる。初の試みとしてバックミュージックを生バンドやコーラスで行う。

小学3年〜50代の出演者は7月から週3回稽古を重ね、歌や踊りをチェックするなど本番に向けて気持ちを高めている。脚本、演出の山本淑子さん（50）は「善意によって人生が救われていくことを感じてもらえれば」と話している。

公演は両日とも午後2時、同6時からの2回。前売り千円、当日1200円。問い合わせは実行委員会☎電話0896（74）3618。（大津貴圭）



本番に向け練習に励む出演者